

平成31年3月6日

産業厚生委員会

阿久根市議会

1. 日 時 平成31年3月6日(水) 10時58分開議
11時28分散会
2. 場 所 第1委員会室
3. 出席委員 仮屋園一徳委員長、白石純一副委員長、中面幸人委員、
濱崎國治委員、牟田学委員、岩崎健二委員、山田勝委員、
野畑直委員
4. 事務局職員 議事係主査 大瀧昭裕
5. 会議に付した事件
所管事務調査
6. 議事の経過概要
別紙のとおり

議事の経過概要

仮屋園一徳委員長

ただいまから産業厚生委員会を開会いたします。

本日の議題は、所管事務調査についてであります。

先の委員会で所管事務調査のまとめを行いました。集落営農等の農業振興策と鳥獣被害対策については、一般質問終了後に改めて委員の皆さんから御意見を伺うとのことでありましたので、これより委員の皆さんから御意見を伺いたいと思います。

まず初めに集落営農等の農業振興策について、委員の皆さんから御意見を伺います。

野畑直委員

先日お願いしておりました委員会の中で、ツバキの植栽について委員会で取り組んできたものを先日一般質問をしたわけですけれども、一般質問の中身といたしましては、市長の答弁ではツバキの植栽については農林業振興センターで2,500本ほどの挿し木に取り組むという返事はいただいたと思っております。そしてまた、そのときにヒサカキも一緒に同じような扱いをしてもらえないかということに対しては、現在ヒサカキについては、支援は行っているということでした。その中で、私はヒサカキのほうについてはですね、現在、産地づくり推進事業という県の補助をもらって取り組まれているわけですけれども、そのヒサカキの生産組合の人たちはそういう補助金の申請等にもものすごく煩雑であって、挿し木等の苗木については市の単独で、できれば半額でも補助をもらって、これからやる方が高齢者でなかなか事務的な処理が難しいということも、意見をいただきましたので、今後、この前の答弁を踏まえてですね、これから私たちも、議会はこれで一応、委員会としては終わるわけですけれども、今後も取り組む要因の一つとして農林業振興センターで苗木を、いい苗木を生産してもらって、煩雑な補助金の事務的なものについて生産者がふえる方向になるにはそのような苗木の半額補助という市の単独事業をやってもらいたいということですので、それに向かって委員会としても協力していきたいと思っておりますので、このことについては次の議会にも申し送りをしていただきたいと思います。

仮屋園一徳委員長

ほかに。

山田勝委員

私が野畑議員の一般質問の中でずっと聞いてたんですけどね、農林業振興センターで苗木をつくるということは非常にいいし、阿久根市が補助金を出してしてやらないかんということもよくわかってますが、ただですね、例えば挿し木をせないかんというような話でしたよね。だからこれについてはですね、農林業振興センターが指導して、やはりね、生産グループの方々も一緒に苗木を、挿し木をするという気持ちで取り組んでほしいと思うんですよ。何でかって言ったら、以前あそこにね、菊の花をつくるグループがありましたよ。菊の花をつくるグループはあそこで苗をつくってたんですけどね、挿し木をする段階では生産グループも一緒に出てきてですね、挿し木をして、そして後の肥培管理を農林業振興センターがするというのでやったように記憶しておりますよ。そうしなければね、生産グループの方々も自分のことだというふうには受け止めないと思

うんですよ。だからそこはね、やっぱり私はぜひそこまで添付してほしいと思いますよ。

仮屋園一徳委員長

ほかに。

野畑直委員

今、山田委員の意見を聞いてですけれども、今回初めての取り組みとして、過去の例を今、山田委員のほうから紹介がありましたけれども、ヒサカキについてもですね、ヒサカキの穂木というんですかね、挿し木をする前の穂木については、生産組合のほうでいいものと悪いものがあるということで準備してやって、振興センターのほうにお願いをして支援をしているということですので、ツバキに対してもまた今、山田委員の意見も踏まえてそういうことを市民も、また市も一緒になって取り組んでいってこれからも進めていければいいというふうにも思います。

仮屋園一徳委員長

今ののについてはですね、どうなっているのか、私なんかも行ったことがあったけど、場所だけはつくってくれるけど、花の苗を植えるのは花をもらう人が行って、10名ぐらい行ってずっと植えたという記憶がありますので、その辺はもう担当課にどうなるのか聞いたほうがいいと思います。

山田勝委員

私が言うのはね、例えば農林業振興センターでつくってくださいじゃなくて、農林業振興センターと一緒に苗木をつくってですね、肥培管理についてお願いしますよというふうにしてほしいと、そうしなければつくってくれたとを、はい受け取りましたよじゃな、かわいくないから。そういう方向でしてくださいよ。

濱崎國治委員

今の場合は、生産管理組合にお願いするということになれば、そういうグループでない提供を受けられないということになるんですかね。だから、それを含めて振興センターにしてもらって、一般の方についても普及のためにはやっぱりせないかんというのは思うんですけど。

野畑直委員

今の意見をいろいろ踏まえてですね、この前の一般質問の答弁では2,500本ほど取り組んでみるという執行部の答弁もありましたので、できれば担当課を呼んで話をどのような進め方がいいのか、一緒になって委員会に呼んでいただければと思いますけれども。

仮屋園一徳委員長

今、委員会に呼んでということですが、そういうことで皆さんよろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

提案としては、予算委員会が終わった後ぐらいになるのか、その日の1日目でも2日目でも予算委員会が終了後に呼ぶということでないといけないと思います。

濱崎國治委員

委員長報告にするとすれば、早いほうが委員長もまとめないかんわけでしょ。

仮屋園一徳委員長

私のほうはもう、ちょっと後ろが4、5日空いてますので、その辺は何とかしたいと思います。

よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では次に行きたいと思います。

今の集落営農の農業振興策についてはほかに御意見ありませんか。

中面幸人委員

この前の内容でいいかと思います。

仮屋園一徳委員長

それでは次に、鳥獣被害対策について委員の皆さんから御意見を伺います。

中面幸人委員

きのう一般質問をさせていただきましたけれども、要するにですね、やっぱりここ5年間しっかりとできておったのを、こういう状態になっているということで、私的にはですね、やっぱりいかくらがですね、ないことにはやはり捕獲の頭数も上がらないし、どうしてもあれはなくしたらだめだと思っているので、そういうことで市長にもお聞きしたら市長自体も潰すという考えはないという確認もできましたしですね、ただこのままでは私は協会員であったり、いかくらのいわば社員とかか代議員とかそういう人たちから話を聞けばですね、この間もまた招集をかけたんだけど、集まってこないという段階でですね、なかなかこれじゃ先に進めない。やはりしっかりと、いわば一般社団法人の社員というのがしっかりと組織ができないことには、きのうの答弁でありましたように、市のいわば後押しもできないというようなことですね、私的には一般質問では市長の思考をお伺いしたい。私は思考というのは結局、いい方向にこの事態を導いてほしい、いい結果を出してほしいという意味でのそういう思考という、ただ話を伺うじゃなくて、そういう形でそういう言葉を据えて一般質問をしたんですけどですね、やはりこうやってずっと見とればですね、なかなか例えば捕獲協会、その前に猟友会があったりあるわけなんだけど、その人たちとしては、いかくらの今後の話し合いについて例えば今、いかくらにいわば会員を募ったら43名、60何名のうち43名なんだけど、やはり60何名の全体で話し合いをしたいというふうに考えて先に進めようというふうに今していらっしゃるんですけど、なかなかですね、まだそういう状況では先が見えない状況なので、本当は市長が今のいかくらの社員、いわば役員とですね、膝を交えて、1回は議長も一緒に市長と一緒に話し合いをしたらいいですけど、それか議会もとかですね、そういう形でいかないと絶対先が見えない。となればですね、やはり私が一般質問したようにですね、とった獲物はですね、獲物とか有害鳥獣については、やはりその施設に持っていったるのが多いんですね。多いわけですから、やっぱりどうしても早く機能を復活してやらないと、本当に農家が困ると私は本当に思っておりますので、その辺あたりに解決する糸口も捕獲協会であったり、だけじゃなかなか見えてこないんじゃないかと私は思っておりますので、きのうも、私もそういうふうに少しは突っ込んだ話もしましたがけれどもですね、皆さん方もどういうふうに、委員の方もどう思われたかわかりませんが、私は本当にそういうふうに思っているんですが、皆さんの意見もお聞きしたいと思います。

山田勝委員

私がきのう中面議員と市長との質疑を聞いてってですね、これはちょっこいじゃ収まらんですよ。何でかって言ったら、こちらもこちらも引かんとって、お互いに。だから私は行くところまで行ってな、お互いにもうどげんしもでけなよというところで初めて阿久根市が乗り出すということだと思ふ、議会としても。そうしないと今どしこ言ってもだめですよ。だからもうしばらく放置やね。しばらく静観せな仕方ない。

野畑直委員

この捕獲につきましてはですね、まず猟友会がある、そして捕獲協会がある、そして

今、中面委員が言われるのはいかくらの存続についてですけれども、私は捕獲協会員でありますけれども、いかくらのほうに参加するかしないかという去年の5月末に打診の手紙が来ました。しかし、私はもうイノシシ・シカについては捕獲できないというか、しませんので、いかくらという施設の参加はしていないんですね。そういう人たちが何名もいて、結果として今、43名という数字を言われましたけれども、いかくらの施設を利用したいという人が43名いると。その中に私は捕獲協会員であるけれども、その人数の中には入っていない。そういうところがあってですね、私なんかも今、先日、話し合いもあったけれども参加者が少ないと。当然私は行く権利もないし、山田委員も言われたように、猟友会もあって捕獲協会もあって、そしてまたいかくらのメンバーを募って、そういうややこしい構成になっていますので、なかなか一概に解決することがいくのかなというふうに感じております。

仮屋園一徳委員長

ほかにないですか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

では、今、意見がありましたけれども、中面委員の中にもありましたが、その話し合いを一度されても話が前に進んでいないと。山田委員からあったように、いかくら、捕獲協会の方々が話し合いをされて前に進めないことには現段階では難しいのではないかとということでの意見がありましたけど、今のままでちょっと状況を見ていくということではよろしいですかね。

白石純一委員

確かに一般社団法人はその社員の方々のものだし、捕獲協会は捕獲協会の方々に決めればいわけですけれども、やはり捕獲をしてとれた有害鳥獣を解体するというのの前に、やはり大変困っている農家の方が、鳥獣被害で困っていらっしゃる農家の方がいらっしゃるというのも阿久根市にとっては大変大きな問題で、その捕獲協会からいかくらに対して解体が進まないとなると、捕獲が進まなければさらに農家の方の被害がふえるということは、やはり市としては大きな問題としていかくらに対して解体をできるだけ進めるように、やはり注視して意見を言っていくということは、私は大変大事なことでないかと思っております。

中面幸人委員

私も本当は最近、いかくらの代表社員と話をしたんだけど、牧尾代表なんだけど、やはり29年度は、とめていた分はもらったんですよ。脇本と阿久根の捕獲協会は改善策を出した。それでいかくらも出したということですよ。市の行政側とも、執行部側とも所管とも話をしながら出しましたと、出してありますと。それで29年度でとめてあった分はもらいましたと。それで会長としては30年度分ももらえと思っていた、当然、改善策も出したから。ところが、今回の提案である30年度の補正予算は1,700万円くらい減額ですよ、不用額と言ったら減額。そして31年度はゼロでしょ。だから、せっかくこうやってやってきたから捕獲隊員がとってきたやつはやっぱり処理してやらないかんという思いで、午前中は開けとったんだと。その頭数が、私がきのう言ったように500何頭くらい処理はしてあるわけ。当然そこにはお金はかかっているわけよな。その解体する社員にもお金を払わないかんから。聞くところによると自腹も切っているという話もされておりました。多分、だから会長としては30年度分ももらえと思っていたわけ。ところがもうないわけ、きのう確認したごとな、ないわけ、当然。だからそうしたときに、もうしない、今まで午前中しとったけどもうしない。当然ですよ、社員にお金を

払えんわけやっで。多分そういうふうになると思う。そうすれば、完全にあそこは閉めないといかんというわけですよ。そうしたときに、本当にな、今度は（聴取不能）やっぱりわなにイノシシがいて、生きているやつはあしたの朝、午前中までにとめ刺しをして持っていけばいいんだけど、例えば死にかかったやつを早く持って行かないといけなわけやっで、そういうやつは午前中しかしとらんわけやっどが、もうやっせんわけです、イノシシが。そういう状況もあるわけやっで、もう全く会員の人たちもな、やる気をなくしている人がいる。だからそういうことで、もう30年度の予算がもらえんとやればもう閉めると思う、多分、閉めると思う。そうなったときに本当にな、イノシシ・シカはふえてくると思うわけよ。今、山田委員が言わあごと、放っていっしょかなじゃらよと言わっけどやっど、本当、農家はな、困りますよ。私がきのう写真を見せたように、昼間からあげんして走って回りたい、出てくったっで。だから幾らとっても本当に入ってくるんですよ。だから私が言うごと、侵入防止柵をせんことにはな、絶対、稲とかカライモもつくれないですよ。

仮屋園一徳委員長

もう閉めるということについては、市長以下、委員の皆さんも白石委員からもあったようにそれはそうしてはならないということですので、山田委員からちょっと質疑を。

山田勝委員

私が言うのは、静観しないとうまくいきませんよと。何でかって言ったら、担当課とも話してみるんだけど、担当課の言い分はですね、例えばイノシカ肉をとって売って、あるいは経費を節減してすれば、ならんはずはなかつちゃっでって言って出さんと言うだけの話やったっで。だから、それでいかなよと思うど、私も。それでいかなよ、できなよと思うどん、こっちんしはそげん思ていっちょん出さんて言うとにやっど、ここでどしこ語ったとこいで一步も前に進まない状況の中では、もうしばらく静観して、お互いにみんながそれなりに自分のこととして考えて、そして今、中面委員が言うごと、これじゃいかなよという気持ちにならないと前に進まないよと。だから、放っていっちょけじゃないですよ、気になっどったどん、そうしないと、例えば一方の捕獲協会のしと完全なけんかからスタートしとるわけやっで。だから今でもそんしは牧尾がやめればよかの世界の話。こっちはせんとせんどという話やらよ。だからそれはしばらく静観をしてこっちんしも困る、こっちんしも困る、ほいで農家も困る、これは何とかせないかなよというとき初めて私たちはこのままじゃいかなで何とかしようとなという形で介入せないかんと、おいは思とうですよ、私は。そうしないとね、今どんなに言っても進まない、一步も進まないですよ。

中面幸人委員

それはそれでいいですよ。実際、こうなんですよというのをわかってもらうために話をしただけです。

牟田学委員

今ずっと聞いとったんですけど、確かにいかくらの運営に関しては中面さんの言うこともわかるんですけども、ただ執行部としては千何頭あったのを処理してストアでんどこでん出して単価がキロ2千円なら2千円、そげんすれば千頭分やればそれだけでいかくらの運営はできるという判断をしてるわけですよ。だから、いかくらとしてはですよ、いかくらとしては今までそういう補助金の問題があったり、いろいろありました。本当やればいかくらは自立をしてな、自分でしていかないかんと。それで試みて1年間試みて、ああやっぱり無理があるなというときにはまた話せばいいのであって、執

行部はそういう、これぐらいになるだろうというあれをしているわけで、私はいかくらはやっぱり自力でな、1回してみらんと、この問題も、もし残すんであればですよ。

[発言する者あり]

中面幸人委員

牟田委員が言われるけどな、実際な、執行部側としては1,200頭ぐらいのイノシシがとるっただで、それを売れば自立できると言ってますけど、実際はな、牧尾さんに聞けばな、そげん売れないと。売ればな、ほかんところもしていると言うわけよ。どこも全国的に売れるんであれば。確かに執行部側としてはそげんふうに見てるけど、実際はな、売れないという話ですよ。それはわかりませんよ。もう少し営業をすれば売れるかもしれん。

[発言する者あり]

仮屋園一徳委員長

すみません、皆さんの意見を伺いましたので、ここで私のほうでまとめさせていただきます。執行部のほうとしては、きのう2人の委員の方が一般質問をされました。できるだけ今の経費を削減して、それをば販売する等も含めてやっていけるという判断をしていますという内容です。今、いかくらのほうについては、午前中しか経営をしていないということは、経費の関係でしていらっしやらないと思います。そういったことで、両方があってないというよりも、捕獲協会とかそういうところも話し合いが、折り合いがついていないという状況の中で、市としてもなかなか補助金をそのまま出せないということでしょうから、委員会としては市のほうにできるだけ正常な形になるように努力をしてくださいと言うぐらいしか言えないと思うんですけども、そういうことでまとめてよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それではそのようにしたいと思います。

それでは、農政課になりますけど、農政課については所管課を呼んで話を伺うということよろしいですかね。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、そのように決しました。

委員会の開催日程等については委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、そのように決しました。

野畑直委員

先ほど、農政課と言われましたけれども、今、特用林産物の産地づくり推進事業を利用してもらいたいという水産林務課の話がありましたので、水産林務課のほうも農政課のほうも次の委員会に呼んでいただいたほうがいいと思うんですが。

仮屋園一徳委員長

よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では、そのように進めたいと思います。

その他、委員の皆さんからありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、それでは以上で本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 11時28分)

産業厚生委員会委員長 仮屋園 一徳